

「勿忘草の咲く町で 安曇野診療所記」放映

原 宏實

NHKBSテレビ放送で「勿忘草の咲く町で 安曇野診療所記」が放送されている。
6月28日日曜日午後10時スタートで、8週に渡って放送中である。

原作は夏川草介、「神様のカルテ」で有名になった現役内科医師。

早速読んでみた。舞台は安曇野と梓川が見渡せる「梓川病院」で、随所に花の名前が出てくる。

サンダーソニア、秋海堂、ダリア・ダイアリー、山茶花、カタクリ、勿忘草の花等々で章が構成されている。

それと周りの風景描写に安曇野の景色が散りばめられている。

テレビドラマの撮影は安曇野市で行われおり、常念岳、有明山(安曇富士)及び北アルプスの遠景が何度となく出てきます。

主人公等が屋上で休憩している場面は、安曇野市役所の屋上から眺めです。

この小説は、高齢医療、終末医療の在り方について、問題を提起している。

酸素供給、胃瘻治療、人工心肺等の「延命治療」か、本人の意思表示、家族の希望に基づいた「看取り治療」のいずれをどのように選択するかです。

ますます高齢化が進み、入院患者の認知症化が進む中での病院の対応・対処が難しくなっています。

松本深志高校は今年、創立150年です。色々な周年行事が行われます。「15回あきつ会」の会員の皆さんも是非沢山参加してください。

又、今年は「長野県」が生まれて150年です。色々な記念行事が行われます。

そんな年に、松本平を舞台にしたテレビドラマが放映されています。

是非一度ご覧になってください。